



岡崎市立額田図書館
夏号 No.71
2024年6月発行

額田図書館をご利用いただいた皆さまにおすすめ本の紹介をお願いしたところ、たくさん集まりました。
今号はその中から一部をご紹介します。



本の樹



題名	題名
作者	作者
メッセージ	メッセージ
わたしのオススメ本	わたしのオススメ本

葉っぱのかたちをした用紙へ「おすすめの本」と「メッセージ」を書いていただきました！それを大きな紙に描いた幹や枝へペタペタ貼り付けて、あおあとした立派な「本の樹」ができました。

集まった葉っぱの枚数は全部で42枚でした。
ありがとうございました(^^)

題名 「11ぴきのねこ」
作者 馬場 のぼる
メッセージ かおとおはなが
おもしろい！
わたしのオススメ本

題名 「源内なかま講」
作者 高橋 克彦
メッセージ 文中の登場人物「蘭陽」
の行動が楽しい。江戸時代の時代劇。
わたしのオススメ本

題名 「またぶたのたね」
作者 佐々木 マキ
メッセージ さいごの一文が、人生って
そうだよな〜と共感させられる。
わたしのオススメ本

題名 「はりねずみのルーチカ
カギのおとしもの」
作者 かの ゆうこ
メッセージ フェリエの国のニコ、ルーチカ、ソル、
ノッコ、トウリの5人が、カギは誰がおとしたのか、
ちえを出し合っていておもしろいです。

題名 「成瀬は天下を取りにいく」
作者 宮島 未奈
メッセージ 短編6話のうちの最初の2話で
成瀬と島崎のつかずはなれずの友達感覚が
さわやかでよかった。

題名 「学校の七不思議」
作者 日本民話の会学校の怪談
編集委員会
メッセージ こわいけど
ドキドキハラハラ！
わたしのオススメ本

題名 「この世をば」
作者 永井 路子
メッセージ 藤原道長のサクセスストーリー。
平安時代の家族のつながりや女性との関係も
面白く「光の君へ」の参考にもなる。

題名 「薬屋のひとりごと」
作者 日向 夏
メッセージ 主人公の猫猫の知識などで事件を
爽快に解決したりするのがとても面白いです。
わたしのオススメ本



紙面で紹介できなかった皆さま、ごめんなさい m(__)m

絵本で人気が高かったのは『11ぴきのねこ』シリーズです。額田図書館の天井にも飾られているキャラクターですが、圧倒的な支持率でした。上記でも紹介されている小説『成瀬は天下を取りにいく』は2024年の本屋大賞を受賞しましたね。滋賀県が舞台で、『成瀬は信じた道をいく』という続編も出ています。受賞が発表された4月10日以降、図書館の本にも予約がどんどん入っていて人気が高い本です。読んでみたい本はありましたか？

● 図書館からのお知らせ ●

「ブックスタート」

・偶数月 第1木曜日 10:00～11:00

「おはなしと紙しばいの会」

・第2土曜日 10:30～11:00
・第3金曜日 16:00～16:30

中止や変更になる場合があります。
最新情報は図書館ホームページ、
館内掲示等でご確認下さい。



としょかん 図書館クイズ!



おかざきし としょかしだししゅう つか ちゅうおう
岡崎市の図書貸出証が使えるのは中央
としょかん めかたとしょかん しみん
図書館、額田図書館、市民センター7か所、
あと1つはどこでしょう?

- ① 岡崎げんき館
- ② 岡崎ゆうき館
- ③ 岡崎のんき館

🍷 答えはおたよりの最後です 🍷

ヒント

健康のための本が色々ある
〇〇ハツラツ館!

夏号のおすすめ本

ちいさいこむけ

『パンダおかおたいそう』

いりやまさとし/作 講談社 E/ハ

パンダと いっしょに おかおの たいそうをしよう!

なんの どうぶつの たいそうか わかるかな?

おみみを ぱたぱた ぞうさんの おみみたいそう。

おくちを ぱくぱく きんぎょさんの ぱくぱくたいそう。

したを べろーんと だして ながーい したの カメレオン
の たいそう。

さいごは みんなで にっこり にこにこ いいおかお!

パンダ おかおたいそう やってみてね。

小学生向け

『これがオリンピックだ』

舛本直文/著 講談社 780/コ

今年の夏、4年に一度のオリンピックがパリで開催されますが、何のために行われるのか考えたことはありますか。

世界最高のスポーツ大会? ...それだけではないんです。

この本には「オリンピズム」という思想や歴史、ハプニング、日本とオリンピックの関わり、メダルについてなど様々なエピソードが紹介されていて、詳しく知ることができます。これを読めば、今年の夏のオリンピックをさらに興味深く観戦できること間違いなし!

YA 向け

『本を守ろうとする猫の話』

夏川草介/著 小学館 913.6/ナツ

高校生の夏木林太郎は古書店を営む祖父と二人暮らし。学校に居場所を見つけられず引きこもりがちな林太郎にとって「夏木書店」は心の拠り所です。ところが突然祖父が亡くなり、叔母に引き取られることに。そんな時、林太郎の前に人の言葉話をトラネコが現れ、閉じ込められた本を助け出すために力を貸してほしいと誘います。トラネコについて歩き出すと、店内の行き止まりの板壁が消え、通路はどこまでも奥へと続き…。気になる続編「君を守ろうとする猫の話」もあわせてどうぞ。

大人向け

『紫式部と清少納言が語る

平安女子のくらし』

鳥居本幸代/著 春秋社 210.3/ム

平安時代の女子(身分の高い女性)のくらしを「源氏物語」「枕草子」「紫式部日記」などの作品から読み解きます。

例えば、ファッションセンスを磨くことは、「重色目」と呼ばれるカラーコーディネートを学ぶこと。年齢や季節を考慮して色を選びます。ファッションを気にするのは、昔も今も同じです。

平安女子のくらしを覗いてみませんか? 遠い昔の女性たちが少し身近に感じられるようになる1冊です。

皆さまがおすすめ本メッセージを投函してくれた専用 BOX。スタッフは毎日閉館後に箱のふたを開けるのが楽しみでした。手書きのメッセージは本当によいものですね。

この夏、額田図書館でお待ちしています。たくさんのお本との出会いがありますように。



岡崎市立額田図書館

榎山町字山ノ神 21 番地 1 Tel.82-2953

【開館時間】9:00～19:00 【休館日】月曜日 ※祝日の場合は開館、翌日以降の平日に休館。



岡崎市立額田図書館